

なか議会だより

2025
4.18
Vol.85

TOPICS

こんなことが決まりました
令和7年度予算
議案や請願・陳情などの審議結果

一般質問

閉会中の議会活動

特集

好きだから、 負けたくない

技能五輪国際大会銀メダリスト 田澤大さん



那珂市議会広報編集委員会

INTERVIEW

インタビュー

ひとつの目標に向かって 駆け抜けた日々

技能五輪を目指したきっかけは。

高校生の時に「旋盤」と出会い、検定などを通して楽しさを感じ、好きになったことで誰にも負けたくない気持ちになりました。その延長線上にあったのが技能五輪だったので、入社後この道を目指す決めました。

大会に向けてどのような訓練をしましたか。

部屋やお風呂に旋盤の図面を貼って覚えていました。本番で製作するものが当日公開のため、どんな課題が来ても対応できるように、自分の引き出しを増やしました。「誰にもできない、自分にしかできない訓練」を目指して取り組んでいます。

大会を経験して思うことは。

ひとつの目標に向かって駆け抜けた時間はあっという間でした。

これまでずっと先輩方の姿を見て憧れていましたし、開会式もオリンピックのように行うので日本代表という立場であることの実感が湧きました。

大会では、日本を背負って世界と渡り合ったという自信がつき、自分を褒めるきっかけができて良かったです。

また、今大会では課題が早く終わり制限時間にかなり余裕があったのですが、最終確認を時間ギリギリまで30分かけて行い、より精度を上げて綺麗に仕上げられたことに自分の良さ、日本の良さを出すことができました。



株式会社 日立ハイテク

たざわ だいむ
田澤 大 さん

額田小・那珂二中出身 23歳

日立工業専修学校を卒業後、(株)日立ハイテクへ。技能五輪選手として、入社から5年間にわたり旋盤技術の向上と研鑽に励む。2024年フランスで開催された技能五輪国際大会にて銀メダルを獲得。

現在は、選手を引退し一般業務に従事。

必ず叶う

夢は、
努力を続けることで



子どもたちへ伝えたいこと

- ①他人と自分を比べない
理想の自分になれるように
今の自分と戦おう
- ②好きなことを見つける
夢中になれるものを見つけ
全力で取り組もう
- ③自分に自信を持つ
どんなことでも自分の得意
なものを磨こう

今の仕事のやりがいは。

技能五輪で培った技術を
活かし、現場で働いている
ことです。まだまだ学ぶこ
とがたくさんあると実感し
ている中で、将来指導する
側になった時を考えて日々
勉強しています。

将来の目標は。

指導者として技能五輪に
挑み、世界一にリベンジし
たいです。

また現場では、いろい
ろな機械を操作できるよう
なり、「どんな機械でもト
ラブルがあつたら田澤さん
に聞けば解決できる」と言
われる技術者になりたいで
す。

「技能五輪国際大会」

幅広い職種の技能競技を通
じ、参加国・地域の職業訓練
の振興および技能水準の向
上、国際交流と親善を目的に、
1950年より開催されているも
のです。

田澤さんの出場した「CNC
旋盤」という職種は、円筒・
溝・ネジなどの切削加工を行
うCNC装置を操作し、部品
を時間内に加工して、その精
度を競う競技です。



どんな那珂市になってほ
いですか。

子どもが少なくなってい
ることへの対策をしてほし
いです。弟を見ていると、
部活の人数が少なくてチー
ムが組めないなど、僕が子
どもの時代よりも活動しづ
らくなっているように感じ
ます。対策といっても難し
いかと思います。頑張っ
てほしいです。



表彰式の様子(左から2番目)

令和7年度のお金の使い方が決まりました

一般会計予算

252億3000万円

特別会計予算総額

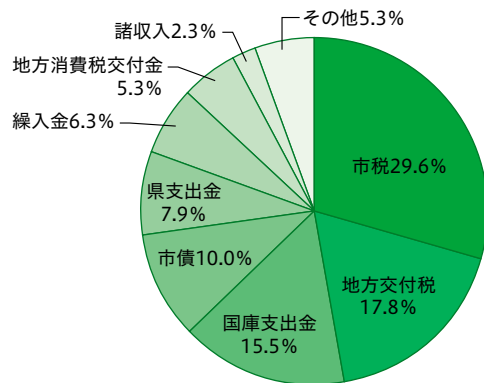
112億1000万円

市長から令和7年度の予算案が提出されました。予算の審議は、3月11日から13日の3日間にわたり、各常任委員会に付託して行いました。その結果、全ての予算案が市長の提案どおり可決されました。

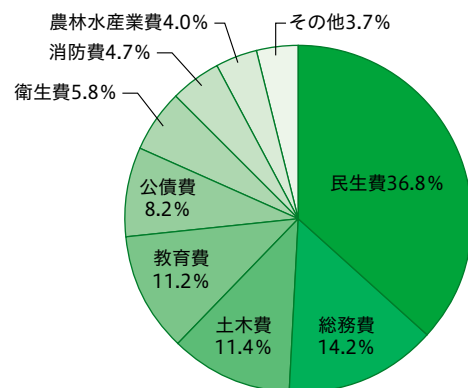
今回決定した令和7年度のお金の使い方と、主な事業についてご紹介します。

会計別予算額

一般会計	252億3000万円
特別会計	
国民健康保険	52億円
公園墓地事業	1000万円
介護保険	50億円
後期高齢者医療	10億円
水道事業会計	
収益的支出	12億28万7000円
資本的支出	11億140万円
下水道事業会計	
収益的支出	17億2266万8000円
資本的支出	18億5889万7000円



一般会計歳入



一般会計歳出



本市とオークリッジ市が国際親善姉妹都市盟約を結んでから、35周年を迎えることから、両市がさらなる理解と友情を深め、日米両国の親善に寄与するための記念事業を実施します。

オークリッジ市国際親善
姉妹都市35周年記念事業
事業費
265万5000円



瓜連支所利活用検討事業

事業費
469万6000円

瓜連支所の組織配置再編に関する基本方針に基づき、今後の在り方を幅広く検討するため、地域住民や学識経験者、その他関係団体の推薦者などによる検討委員会を設置します。



額田城跡整備事業
事業費
2947万9000円

額田城跡指定範囲を管理するため、城跡保存会に委託します。さらに、保存および地域の活性化に活用していくため、令和7年度は試掘確認調査を行います。



いい那珂

フェスティバル事業
事業費
1691万8000円

「なかひまわりフェスティバル」と「那珂市産業祭」を統合した新たなイベントを開催するものです。
また、市の花である「ひまわり」については、開花時期を早めて継続していきます。

●令和7年 第1回定例会 ●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 3月4日～3月21日

《傍聴者 165人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…34件

請願・陳情…6件

議員提出案件…1件

計41件

提出された議案等とその結果

議案等番号	議案等名	結果
議案2	那珂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案3	那珂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案4	那珂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案5	那珂市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案6	那珂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案7	那珂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案8	那珂市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案9	那珂市職員の旅費に関する条例	可決
議案10	那珂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案11	那珂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案12	那珂市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議案13	那珂市都市計画法の規定による開発行為の許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案14	那珂市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案15	那珂市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案16	那珂市税条例の一部を改正する条例	可決
議案17	那珂市手数料条例の一部を改正する条例	可決
議案18	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
議案19	那珂市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例	可決
議案20	令和6年度那珂市一般会計補正予算（第9号）	可決
議案21	令和6年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）	可決
議案22	令和7年度那珂市一般会計予算	可決

議案等番号	議案等名	結果
議案23	令和7年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	可決
議案24	令和7年度那珂市公園墓地事業特別会計予算	可決
議案25	令和7年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	可決
議案26	令和7年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案27	令和7年度那珂市水道事業会計予算	可決
議案28	令和7年度那珂市下水道事業会計予算	可決
議案29	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会を組織する構成団体の数の増加及び茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更について	可決
議案30	建設工事請負契約の締結について	可決
議案31	市道路線の認定について	可決
議案32	那珂市教育委員会委員の任命について	同意
議案33	那珂市農業委員会委員の任命について	同意
議案34	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案35	那珂市政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
発議1	那珂市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例	可決
請願1	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書採択を求める請願	不採択
請願2	選択的夫婦別姓制度を導入せず、旧姓の通称使用の法制化を求める意見書採択を求める請願	不採択
請願3	脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書を国及び茨城県に提出することを求める請願書	採択
陳情1	那珂市道の駅計画について再検証の実施を求める陳情	不採択
陳情2	道の駅事業の賛否を市民に問うための住民投票条例制定を求める陳情①	不採択
陳情3	道の駅事業の賛否を市民に問うための住民投票条例制定を求める陳情②	不採択

賛否が分かれた議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
	榊原一和	桑澤直亨	原田悠嗣	木野広宣	鈴木明子	渡邊勝巳	寺門勲	小池正夫	小宅清史	大和田和男	富山豪	花島進	寺門厚	萩谷俊行	笹島猛	君嶋寿男	遠藤実	福田耕四郎	
議案第19号 那珂市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例	○	×	×	-	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	可決
議案第22号 令和7年度那珂市一般会計予算	○	○	×	-	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	×	○	可決
請願第1号 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書採択を求める請願	×	×	○	-	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	不採択
請願第2号 選択的夫婦別姓制度を導入せず、旧姓の通称使用の法制化を求める意見書採択を求める請願	×	×	○	-	×	×	×	×	○	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情第1号 那珂市道の駅計画について再検証の実施を求める陳情	×	×	○	-	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	○	×	○	×	不採択

※議案第22号は、複合型交流拠点施設「道の駅」整備事業及び菅谷飯田線道路整備事業について討論がありました。

◆議案第22号

令和7年度那珂市

一般会計予算

○シティプロモーション

推進事業

(835万3000円)

「那珂市シティプロモーション指針」及び「那珂市シティプロモーション行動計画」に基づき効果的な情報発信を推進し、交流人口の増加などを目的とした事業です。

Q いい那珂暮らし応援団活動業務の具体的内容は。

A いい那珂暮らし応援団は職員だけでなく、一般のかたも加入し、那珂市のPR活動をしています。

応援団の中にいい那珂宣伝部を設置し、一般の方の市民目線で、那珂市の良い所や感じたことをSNSにより情報発信してもらうことが主な活動内容です。

Q 応援団の団員は市内の

かたですか。

A 全てが市内のかたではなく、筑西市出身のかたなども団員となっています。

Q ターゲット先としている市外のかたに那珂市の情報が十分に届いていない現状もあるかと思いますが、メンバー選考方法も含め工夫が必要ではないでしょうか。

A 担当課で協議し、団員の意見も聞きながら、効果的な手法を検討していきます。



○参議院議員通常選挙費

(3007万9000円)

○茨城県知事選挙費

(2296万9000円)

参議院議員と茨城県知事の任期満了に伴う選挙執行の経費となります。

Q 茨城県知事選挙の経費は全額が県からの支出金で賄われていますが、参議院選挙は県からの支出金以外に市の一般財源から137万6000円が予算化されています。この一般財源はどのような経費ですか。

A 投票用紙分類機の増設や可搬型給電機、テント、テーブル、椅子などの選挙執行に必要な備品購入費です。

選挙の種別には、国の選挙として参議院でいえば茨城県選挙区と比例代表、衆議院でいえば小選挙区と比例代表と国民審査を合わせた5つ。それに加えて茨城県の県知事選挙、県議会議

員選挙、市の選挙として市長選挙と市議会議員選挙を合わせた全部で9つの選挙種別があります。

備品については国の選挙で購入したとしても、市の選挙などにも使えるといったことから、国からの補助は、購入費の9分の5となっており、その残り9分の4が市の負担となるため、一般財源で予算化しています。



◆議案第22号

令和7年度那珂市

一般会計予算

○特産品ブランド化

推進事業

(550万3000円)

特産品の付加価値向上及び競争力強化を図るため、品目ごとに定める基準に適合する「那珂市特産品ブランド」を認証し、確かな品質・技術を伝える地場産品である証をアピールすることにより、消費者の信頼を高め、地場産業の活性化を図るものです。



▲令和6年度那珂市特産品ブランド認証品

▶那珂市特産品ブランド
「いい那珂いいもの」HP



Q 特産品ブランド化推進事業は、どういった状況ですか。

A 現在25品目が認証を受けている状況にあります。道の駅の整備も見据えて、令和5年度から審査を厳格化するとともに、販路なども考慮し、事業所のかたなどにも委員として参加していただいているところであります。認証期間は3年間です。令和7年度をもってこれまでの認証品の審査は一通り完了します。今後、補助金等を活用して更なるブラッシュアップを図っていければと考えています。

○複合型交流拠点施設

「道の駅」整備事業

(4億1227万2000円)

国道118号の4車線化や県植物園等のリニューアルなどの好機を逃すことなく、地元農畜産物等の販路拡大を目的とした直売施設をはじめ、市民交流、防災拠点、高速バス乗降所等の機能を併せ持つ複合型交流拠点施設「道の駅」を整備することにより、これまで実現できなかった那珂ICを活用した地域活性化策に挑戦し、新たな「那珂市の強み」を創造します。

Q 計画の中では6割を地元の農産物を使って、4割はほかから持ってくるとのことですが、目標としては地元の農産物を増やしたいのでしょうか。

A ほかの道の駅の事例で見ますと、当初は300人の出荷者が必要なところ、150人ぐらいいしか集まらない状況にありましたが、

その後の声掛けなどにより400人と大幅に増えている状況にあります。那珂市としても将来的には8割を地元の農産物で揃えたいと考えていますので、今後、農業者への意向調査なども行い、出荷者の確保に努めていきます。

Q 事業者の生産体制強化などへの投資も行っていくべきと考えますがいかがでしょうか。

A 道の駅の中には加工施設も予定しており、近隣の芳野農産工房の活用を含めて、今後検討を行ってきたいと考えています。



道の駅基本設計模型

◆議案第22号

令和7年度那珂市

一般会計予算

〇いい那珂子育て給食費

支援事業

(6185万9000円)

安全で安心できる学校給食を配食し、心身ともに健康な児童生徒を育成することを目的として、本市では市内の小学校9校、中学校5校に給食を提供しています。昨今の天候不順やエネルギー価格高騰、世界情勢の悪化などにより、賄材料の価格上昇が続いています。児童生徒の給食費の一部を補助する事で、子育て支援の一環として保護者負担の軽減を図ります。現在一人、月当たり300円の補助を令和7年度は1200円増額(合計1500円)にするものです。

Q 1500円に増額となりましたが、米や牛乳、野

菜など、昨今の物価高騰が著しい中、この金額で足りるのでしょうか。

A この先どこまでこの値上げが続くかわからない状況です。令和6年度の賄材料費の実績をベースに換算して、さらなる値上げ見込みも加味して計上しています。

Q 現在の物価高を勘案しても給食費の改定は避けられないと考えます。給食費の値上げについてはどう考えますか。

A 県内市町村でも、学校給食無償化の流れがあります。保護者の理解と負担軽減を考えますと、現在本市では、給食費改定のハードルは高いと考えています。



〇予防接種事業

(1億4706万3000円)

予防接種法に基づいた定期予防接種および任意の予防接種の費用を助成しています。感染、発病、重症化、感染症のまん延を予防することで、市民の健康を保持することをねらいとしています。

Q 本市では、HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)の接種率は年々上がっていますか。

A キヤッチアップ対象の接種者数は本年2月末までの時点で、昨年と比較し2・9倍に増加しています。定期接種の対象についても、キヤッチアップの対象ほどではありませんが、増加している状況になっています。

Q HPVワクチン接種を再開してから、健康被害等の状況はありますか。

A 国全体の状況は把握してないですが、本市への相

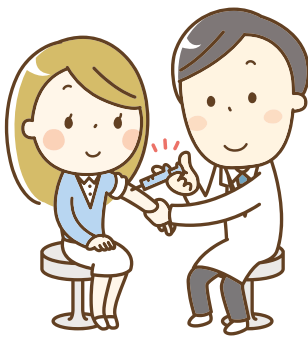
談は現在までありません。

Q HPVワクチン接種のキヤッチアップはいつまで延長になりますか。

A 期間中(令和7年3月末まで)に1回以上接種したかたが完了できるよう、令和8年3月末までの延長となっています。

Q HPVワクチン接種の男性への実施についてはどうなっていますか。

A 現時点での、男性への実施は考えていません。今後、国の動向を注視していきたいと考えています。



請 願 陳 情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。

《請願 3 件、陳情 3 件》

請願第 1 号

適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書採択を求める請願

審議の中で、インボイス制度は消費税の複数税率の下で適正な課税を確保するため必要な制度であり、さらに税の公平性、透明性を確保するものであって、適正な取引が図れるとの意見が出ました。

本会議での採決の結果、賛成少数で不採択と決定しました。

請願第 2 号

選択的夫婦別姓制度を導入せず、旧姓の通称使用の法制化を求める意見書採択を求める請願

審査の中では、選択的夫婦別姓制度の導入については、婚姻制度や家族の在り方と関係する重要な問題であり、国民の理解の下に進められるべきという意見や、その導入に賛成・反対の意見もある中においては、引き続き国会で十分に議論を深めてもらう必要があります、その審議経過を見守るべきであるという意見が出ました。

本会議での採決の結果、賛成少数で不採択と決定しました。

請願第 3 号

脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書を国及び茨城県に提出することを求める請願書

茨城県筑西市藤ヶ谷
脳脊髄液減少（漏出）症our Wish
代表 篠原 克子

脳脊髄液減少（漏出）症の新しい治療体制の整備や難治性の長期疾患患者の指定難病への追加、県内に専門医のいる病院の確保を求めるものです。

本会議での採決の結果、全会一致で採択し、国や県の関係機関に意見書を提出することとしました。

陳情第 1 号

那珂市道の駅計画について再検証の実施を求める陳情

審議の中では、まだ内容が不透明な中で進めていくのは、急ぎ過ぎという感じがあり、慎重にかつ真摯に執行部には審議してもらいたいとの意見がありました。それに対し、委員会として道の駅整備の内容を精査し、市民に議会が訴えていく方法が重要だとの意見も出ました。

本会議での採決の結果、賛成少数で不採択と決定しました。

陳情第 2 号

道の駅事業の賛否を市民に問うための住民投票条例制定を求める陳情①

那珂市堤 根本 慎介

市で計画している道の駅事業について、市長発議による住民投票条例の制定を求めるものです。

直接請求権の仕組みから、市長発議でやってくださいと議会から市長に陳情書を出すというのは矛盾した話になってしまうとの意見が出ました。

本会議での採決の結果、全会一致で不採択と決定しました。

陳情第 3 号

道の駅事業の賛否を市民に問うための住民投票条例制定を求める陳情②

那珂市堤 根本 慎介

市で計画している道の駅事業の、議会請求による住民投票条例の制定を求めるものです。

審議の中で、議会が採決するということであれば、議員提案での住民投票条例案を提出するのが道筋であり、自治法からはずれたやり方ではないかとの意見が出ました。

本会議での採決の結果、全会一致で不採択と決定しました。

※請願・陳情者の住所・氏名については、掲載の希望の有無を確認しています。

一 般 質 問

Q & A

《質問者 13名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

P 13 鈴木 明子 議員

- ◇子育て費用の負担軽減について
- ◇助け合い型ごみ出しモデル事業について

P 13 小池 正夫 議員

- ◇地域の安心安全について
- ◇那珂市におけるプラスチック製容器包装の分別収集開始について
- ◇アグリビジネス戦略について

P 14 富山 豪 議員

- ◇中央公民館の大規模改修と組織再編について

P 14 寺門 勲 議員

- ◇業務の電子化について
- ◇本市の道路管理の取り組みについて
- ◇消防について

P 15 桑澤 直亨 議員

- ◇各公共施設の利便性向上と地域活性化を図るまちづくりについて

P 15 渡邊 勝巳 議員

- ◇那珂市水道事業について

P 16 大和田 和男 議員

- ◇市民との協働によるまちづくりの推進について

P 16 小宅 清史 議員

- ◇市民サービスを考える
- ◇学校給食について考える

P 17 花島 進 議員

- ◇下水道の管理について
- ◇上水道事業について
- ◇那珂市職員のジェンダー平等対応について
- ◇学校給食費の補助または無償化について
- ◇難聴者への補聴器補助について

P 17 遠藤 実 議員

- ◇道の駅計画について

P 18 寺門 厚 議員

- ◇持続可能な下水道事業について
- ◇水道水の安定供給について
- ◇高齢者が生き生きと暮らせる環境整備について

P 18 原田 悠嗣 議員

- ◇瓜連庁舎及び分庁舎問題について
- ◇学校教育について
- ◇道の駅について

P 19 榊原 一和 議員

- ◇G I G Aスクール構想を振り返る

鈴木 明子 議員

子育て費用の負担軽減について

子育て施策に今後も注力する



Q 就学援助制度の申請漏れについて把握していますか。

A 教育部長 把握していません。

Q 学校からの配布書類だけでは、気付かなかつたり、該当しないと自己判断されってしまう事もあります。申請漏れを防ぐ方法や、関連する担当課のネットワークを使用するなど、必要な方に支援が届くようお願いいたします。

A 一年前に質問した小中学校の学園ごとの体操服統一の進捗状況はいかがですか。

A 教育部長 一部の学園では統一に向けた動きが見え、来年度には検討組織の立ち上げを目指しています。

Q 学用品等の負担軽減について、保護者の経済的負

担を軽減する具体的な施策の予定はありますか。

A 教育部長 学用品の負担軽減の予定はありません。

Q 「子育て世帯の経済的支援が充実していない」というアンケート結果が、7割を超えています。多額の予算でなくできる方法、また、予算の再分配で、経済状況に関わらず、子どもたちが安心して学ぶことができるよう、入学時や進級時の学用品等の費用負担の軽減をお願いします。

A 市長 子育て施策に今後も注力していきます。

議員のひとこと

子育て支援施策のさらなる充実を。

小池 正夫 議員

プラスチック製容器包装の分別不十分の対応は警告シールを貼るなど対応

警告シールを貼るなど対応



Q 令和8年4月から開始するプラスチック製容器包装の排出には透明なビニール袋を使用すると聞いています。透明なビニール袋の条件、入手方法、記名・無記名などはどのようになっていますか。併せて、燃えるゴミ袋については今まで通りなのか伺います。

A 市民生活部長 内容物が外から見える透明のビニール袋で大きさは概ね45リットルまでのサイズでお願いします。ご家庭で既に透明なビニール袋があればそれを使用し、なければホームセンターやスーパーマーケット、100円ショップなどで購入することになります。記名は不要です。また燃えるゴミ、指定袋は、現在色やデザイン、

大きさや料金など見直す方向で準備を進めています。

Q 分別が不完全な場合、どのように対応しますか。

A 市民生活部長 収集業者がなぜ回収できないのかを表示した警告シールを貼り、ゴミ集積所に残す扱いを予定しています。可燃ゴミ、ペットボトル、プラスチック製のバケツやおもちゃなど、回収対象でないものが混入している場合や、レジ袋などでくるまれて中身が何かが見えない状態で出されている場合も、同じ扱いをする予定です。

議員のひとこと

分別収集の重要性を周知徹底していただきたい。

富山 豪議員

中央公民館の新築・増築等の試算は行っているのか

現在、試算は行っていない



Q 中央公民館は築何年、経過していますか。

A 教育部長 昭和59年に建設されており、築40年となります。

Q どのような大規模改修を考えていますか。

A 教育部長 耐震補強・外壁・屋根の修繕、設備の更新などを実施する予定です。また、公民館の一部を行政事務室として改修し、庁舎機能を追加することで効率的な運営を図りたいと考えています。

Q 大規模改修した後の耐用年数、さらにはその改修コストを考えると庁舎または公民館敷地内に新築、増築ということも考えられると思いますが、試算は行っていますか。

A 総務部長 今後ますます

進む人口減少や高齢化社会、厳しい財政状況などを踏まえ、そのような将来の変化に合わせた公共施設の在り方を考えていかなければならない状況にあります。10年、20年、30年後の将来に負担を残さない持続可能な行政運営が必要で、引き続き、公共施設等マネジメント計画に基づき、既存施設の有効活用を基本として、長寿命化改修を進めていきたいと考えています。

これらの理由から、新築、増築の試算は行っていない。

議員のひとこと

改修の正当性のためにも、比較となる試算は必要である。

寺門 勲議員

道路管理の取り組みについて

調査研究を進めていきます



Q 本市の管理道路の路面下空洞調査などを実施すべく考えますが。

A 建設部長 本市の道路については道路の損傷などを早期に把握し、適切に維持管理するために市の職員による定期的なパトロールを実施していますが、近年発生している陥没事故を踏まえ、関係課と連携しながらパトロールを実施し、路上での目視点検を行い、必要に応じて早期に対応できる体制をとっています。パトロールの点検の結果、道路のへこみなどが確認され、陥没の恐れがあると判断される場合には、路面下空洞調査を実施していきます。

Q 本市の道路で異状を発見した場合、市道通報フォームに通報できる体制の整備

を検討しては。

A 建設部長 本市の道路で異状を発見した場合の電話連絡やホームページへの書き込みなど現行の通報体制に加え、より便利でアクセスしやすい通報フォームなどを導入することで、より効果的な情報収集が期待できます。

通報フォームの導入により、現場の写真や位置情報の共有が可能になり、より迅速で効果的な維持管理が期待できることから、通報フォームが導入されている自治体の事例について、調査研究を進めていきます。

議員のひとこと

市民の命を守るため、より一層の危機意識を持つて。

桑澤 直亨 議員

公共施設の管理をDX化し 市民の利便性を向上しては

便利な利用方法を目指していく



Q 市民の利便性向上と職員の事務負担を軽減させるために、各コミュニティセンター・体育館・テニスコートなどが利用する文化運動施設を一体的に管理する予約システムや物理的なカギの受け渡しを無くすスマートロックシステムを導入しては。

A 市長 DXを推進することによる住民サービスの向上と業務効率化は、自治体にとって極めて重要なテーマであり、今後の行政運営においても大きな役割を果たすと考えています。

「公共施設の予約や利用状況、料金支払い、スマートロック等をオンラインで一括管理できるシステム」についても、利便性向上の観点から有効な手段である

と認識しています。このようなシステムを導入することは、市民の皆様が施設をより円滑に利用できるように、職員の業務負担の軽減も期待されます。

DXの推進は、現代の行政運営において必要不可欠であり、「住みよきプラス活力あふれるまち」の実現に大きく貢献するものと考えています。

今後引き続き、市民の皆様が豊かになるようデジタル技術を活かした便利な市役所、そして住みやすい地域づくりを目指して取り組みを進めていきます。

議員のひとこと
DXの力で社会を変える。より便利に、より豊かに。

市内に耐震性のない老朽管の延長は約430キロメートルありますが、今後、耐震性能や長寿命化への対策を踏まえ、老朽管の更新はどのような考えで進めますか。

A 上下水道部長 市民生活に大きな影響を与える導水管や国県道、水郡線軌道下などの本管や災害時に重要拠点となる避難所や病院へ通ずる管路を計画的に進めています。

Q 話題となっていている茨城県広域水道に経営統合すると水道料金は変わりますか。

A 上下水道部長 経営統合を行っても水道料金の体制に変更はありません。

Q 給水人口の減少が想定されることから、コストカットによる健全経営は必須です。それと同時に、過去の

渡邊 勝巳 議員

今後の水道事業の経営と災害時の安全確保への対応は 現経営を維持し災害時強化します



災害等のように市民の生命と安全を担保する上で、3つの水源の確保も重要です。この相反する課題に対し、今後の水道事業に対する考えを聞かせてください。

A 市長 現在の経営体制を維持しつつ、災害時における給水体制の強化や共同発注による営業費用の削減を進めるため、隣接事業体との連携を考えています。また、今後の社会情勢を見極めながら、経営統合も一つの手段として柔軟に対応し、市民サービスの向上に努め、市民の命を守る水を念頭に安全安心な水道水の安定供給に努めます。

議員のひとこと
市民の命を守る万全な体制と健全経営計画を願います。

大和田 和男議員

地域活性化を図るため 知恵を絞ったものに支援を

財政的な支援をしていきます



Q 市民との協働によるまちづくりにおいて、産学官連携事業の大学、ボランティア団体や市民活動団体と連携した自治活動をしてはどうですか。

A 市民生活部長 連携する取り組みが広がるよう支援していきます。

Q 敬老行事の見直しを願います。

A 保健福祉部長 適宜見直しを図ります。

Q 表彰事業は対象者を広げ、表彰式も見直しを。

A 企画部長 改善に向け取り組んでいきます。

Q 回覧板を利用した情報発信から市広報はデジタルへ移行してはどうですか。

A 市民生活部長 デジタル弱者への配慮も必要であることから、自治会と協力

して模索していきます。

Q 地域役員女性登用加算制度の導入をお願いします。

A 市民生活部長 他市町村や女性活躍の観点から情報収集していきます。

Q 自治会の区割りの見直し、まちづくりの単位の見直しを要望します。

A 市民生活部長 自治会や地区まちづくり委員会が集まる協議の場において話しをしていきます。

Q 自治会役員負担軽減のため自治会ワンストップ窓口を創設して欲しいです。

A 市民生活部長 コミュニティセンターで対応できるか協議していきます。

議員のひとこと

時代に合った協働のまちづくりの推進を。

小宅 清史議員

迷惑植栽の解決策にコンクリートポットで覆うのは

対応策の一つとして参考にします



Q 上菅谷の駅前の植栽の根が地面に張り出してタイヤをめくり上げていて、歩く妨げになっています。杖をついている人、車椅子の方などは非常に通行しにくい状態になっています。そして、この植え込みは夏になると草が生い茂ってしまっています。そこで解決策として、図のように円柱ポットで覆ってしまします。そのポットの側面には絵を描いて那珂市らしさをアピールできますし、花の植栽も屈まなくてよくなります。いかがでしょうか。

A 建設部長 都市計画道路路上菅谷停車場線の上菅谷駅から国道349号までの区間は、供用開始より数年が経過し、植栽が成長したことにより根が張り出し、

歩道の平板ブロックが盛り上がりつつある状況を確認しています。議員ご提案の円柱ポットで囲う方法については、対応策の一つとして参考にさせていただきますが、今後、歩行者に安心して歩いていただけるよう、順次補修などを行い、対応していきたいと思っております。



議員のひとこと

駅前ということで市のPRの一環にもなります。

花島 進 議員

聴覚改善指導と 補聴器補助の実施を

難聴の理解を進める広報をします



Q 難聴は、人との交流の妨げになり、認知症への誘導要因になるともいわれています。聴覚改善指導と補聴器補助の実施を検討していただきたい。

A 保健福祉部長 ご提案の聴覚改善指導や補聴器補助については、加齢性難聴などの治療が困難な難聴の方にとって、生活の質を維持する重要な取組であることは理解しています。

しかし、補聴器を購入しても合わずに装着しない方がいらつしやいます。国においては、補聴器を購入する際には、補聴器相談医や認定補聴器技能者への相談を推奨しており、購入後の補聴器自体の定期的な調整や、補聴器を使いこなすためのトレーニングが重要で

あると言われていました。

議員指摘のとおり、単に購入時に補助金を交付することだけではなく、早めの気づき、その後のトレーニングなどのケア、補聴器の調整まで、併せて準備していく必要があります。このようなことから、市による補聴器購入の助成をすぐに行うことは難しいと考えています。

まずは、難聴や補聴器に関する理解を得ていく取り組みを進めるため、広報紙等を活用し、補聴器の特徴や有効性、注意点などについて市民の皆様にお伝えしていきたい、理解を促します。

議員のひとこと

補聴器について理解を深める広報等、歓迎します。

遠藤 実 議員

道の駅は、今本当にやらない ければならない事業なのか

未来に向けた投資であると考え



Q 道の駅市民説明会をもっと開催しては。また、説明会でのご意見やパブリックコメントのご意見を今後どう活かしていきますか。

A 産業部長 市報等を活用し周知を図るとともに担当課で意見を伺います。ご意見については今後の協議検討に活かしていきます。

Q 年間約10億円を売り採算性が取れる根拠と、市内への経済波及効果11億円の根拠、そして那珂市道の駅における物産的な目玉商品は何か、伺います。

A 産業部長 需要予測は前面道路の計画交通量等から算出し、収支計画は船井総研に業務委託してシミュレーションをしています。経済波及効果は、「茨城県経済波及効果分析シート」

を用いて試算をしています。また目玉商品は、「うまいもん会議」や「第三セクター設立準備委員会」で商品開発を進めています。

Q 他の様々な施策で重要な課題がある中で、それらに比べて道の駅は今本当にやらなければならない事業なのでしょうか。

A 市長 国道118号の4車線化や県植物園等のリニューアルを好機と捉え、道の駅整備により市内の産業を活性化させ、雇用を生み、経済を回し、そこから得られた財源を福祉や教育に還元していく、未来に向けた投資であると考えます。

議員のひとこと

市民が置き去りのままで進めて良いのでしょうか。

寺門 厚議員

本市水道事業、県への経営統合は住民に周知し理解を

議会へ報告、パブコメ等で住民周知



Q 本市の水道料金は、平成9年の料金改定以来、値上げをせず健全経営状況にあります。しかし、人口減少や利用者減少による水道料収入減、木崎浄水場や配管更新費用の返済、維持管理費の増、減価償却費の増など厳しい経営状況が今後も予想され、水道料金の値上げが必要と考えますがいかがですか。

A 上下水道部長 日頃より、漏水対策を施行し有収率の向上に努め、水道料金の現状維持に努めます。

Q 今後の水道事業について、茨城県への経営統合の話は、現状では広域連携で共同発注や共同購入で営業費用のコスト削減が図れており、水源の多様性、災害時の対応力等のメリットが

あり、現経営体制を維持し、今は経営統合を考えていない、との本市の見解です。統合するメリットがなければ経営の統合は必要ないと私も考えます。県との統合の前に、水戸やひたちなか・東海との広域連携強化し、本市水道事業の安定経営を図るよう要望します。今後は、県との統合を判断する際には、検討委員会設置、住民説明会開催し、住民への周知と理解を図るべきと考えますがいかがですか。

A 上下水道部長 検討委員会設置、議会への報告、パブリックコメント等を通じ、住民へ周知します。

議員のひとこと

水道事業の県との統合は、本市のメリットを充分考慮。

原田 悠嗣議員

道の駅は民間と競合するのではないか

少なからず影響は懸念される



Q 道の駅は民間のスーパーマーケットや直売所と100%競合しないと言い切れるのですか。

A 市長 道の駅が整備されることにより、少なからず既存のスーパーや直売所への影響については懸念されると思います。

Q 道の駅建設事業は合併特例債を使うから行うものなのか、使えなかつたとしても行うものなのか、どちらですか。

A 市長 市内の産業を活性化させ企業に那珂市へ目を向けてもらい、新たな産業を育て、雇用を生み、経済を回す。そこから得られた財源を福祉や教育などに還元していく。いわば次世代の子供たちや未来の那珂市に向けた投資であり、本

市にとって必要な事業であると捉えています。

Q 道の駅事業により恒常的に市の財政負担が発生した場合、市長はどのように責任を取るつもりですか。

A 市長 今後の社会・経済環境の変化を見据えた経営戦略やリスク管理、リニューアル計画などについて、第三セクター設立準備委員会と協議を重ね「いいモノ・コトを創出する循環をつくる」道の駅の実現に向けて、現状に満足することなく進化し続ける、持続可能な運営体制の構築を図っていききたいと考えています。

議員のひとこと

道の駅事業の責任の所在をはっきりさせるべき。

学校教育ICT化が進む中
児童生徒への弊害について

求める教育を追究、実践していく



Q ICT化が急速に進む中で、児童生徒への弊害も生じているとの話もありますが、その点はどのように考えていますか。

A 教育部長 授業でのタブレットの活用方法だけでなく、適切な使用方法もあわせて、指導する必要があります。スマートフォンによる動画視聴や、ゲーム機の使用なども考えられるため、タブレットのみの影響がどの程度になるかを把握することはできていません。タブレットを使用する際の注意点について保護者へ周知する等、継続して注意を促していきます。

否定的な声もあがっていることについて、教育長の見解を伺います。

A 教育長 今までが一変するような変革期には、もたらされる影響や起こりうる事態等を予想することが難しく、変化を恐れ、ためらったりすることもあります。学校教育のICT化は始まったばかりで、更なるスピードで推進されていくことは自明です。子どもたちが豊かな未来を手に入れることができるように、ICTという有用な手法を取り入れながら、真に求められる教育のあり方を追究、実践していきます。

議員のひとこと
児童生徒が、夢を持ち挑戦し続けられる社会を望む。

令和7年 第1回 臨時会

会期 1日間 1月27日(月)



提出された議案等とその結果

(賛否が分かれた案件はありませんでした。)

議案等番号	議案等名	内容	結果
報告1			-
報告2	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。	-
報告3			-
議案1	令和6年度那珂市一般会計補正予算（第8号）		歳入歳出それぞれ2億7458万4000円を増額し、総額を248億2863万9000円とするもの。住民税非課税世帯重点支援給付金事業、住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金事業の計上など。

1 / 29

総務生活常任委員会 常総市へ行政視察



公共施設マネジメントを先進的に取り組んでいる常総市へ視察に行き、幼稚園の統廃合や施設管理の民間委託など多くの事例を学びました。

将来にわたって健全な自治体経営を実現していくため、今回学んだ公民連携の取り組みなどを参考にしながら、明確な将来ビジョンを持って計画を進めていくよう、引き続き調査研究を進めていきます。

閉会中

議会活動レポート



Facebook



Instagram

議会活動は議会公式SNSでも
随時発信しています。ぜひご覧ください。

2 / 5

教育厚生常任委員会 ～ 2 / 6 袋井市、足立区視察



静岡県袋井市は、最先端の衛生管理システムと厨房設備があり、地元産の野菜を積極的に取り入れ、素材の味を活かした手作り給食を提供しています。また東京都足立区の「おいしい給食」は、できたての味、安心・安全で地・旬のものを取り入れた食材、食べたくなる献立に力を入れていきます。本市に反映できるように今後も調査していきます。

1 / 30

議会運営委員会 石岡市議会へ視察



議会運営委員会では、ハラスメント防止条例やインターネット中継について学ぶため、石岡市を視察しました。正確な情報を精査するための取り組みや、事象ごとに丁寧に対応する仕組みの構築など、様々な方法で、ハラスメント防止に取り組んでいました。参考になる点は積極的に取り入れ、今後も議会改革をさらに進めていきます。

議員と語ろう会

総務生活 常任委員会

テーマ：移住定住・那珂市の未来

那珂市への移住者 4名



1月16日、那珂市へ移住してきたかたがた4名を招いて「移住定住・未来の那珂市」をテーマに活発な意見交換を行いました。

子育てしやすい環境の整備や雑草が生い茂った道路の美化、市内の美味しい野菜や特産品PRの必要性、ふるさと納税返礼品への工夫、市民が一体となって盛り上がる新たなイベントの実施など、選ばれる街となるために様々な要望を聞くことができました。

また県植物園のリニューアルや整備が予定されている道の駅に対する期待の声もある中で、パブリックコメントに対してコメントを書きやすくする工夫や、分かりやすい文章で説明してほしいといった要望もありました。

将来の街づくりに責任を持ち、一人ひとりの思いにしっかりと寄り添いながら、引き続き市民の皆さまの声を聞いていきます。

原子力安全対策常任委員会

「市民の皆さまの声を聴く会」開催のお知らせ

今後のエネルギー問題や東海第二発電所関連など原子力全般について、これからの活動の一環として、市民の皆さまのご意見をお聴かせください。

対象は、市内に在住、在勤、在学されているかたで原子力や東海第二発電所について意見・関心のあるかたです。

※事前申込（申込期限：5月14日(水)）

日時 5月18日(日) 9時30分～11時30分

場所 ふれあいセンターすがや2階 会議室

申込方法 下記QRコードで申込または電話・メールにて

「住所・氏名・電話番号」を
議会事務局にご連絡ください。

☎ 029-298-1111

✉ gikai@city.naka.lg.jp



議会を傍聴しませんか

自由に見たり、聴いたりできるんです



令和7年6月定例会日程（案）

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 本会議 (開会)	11	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問など)	14
15	16	17 総務生活 常任委員会	18 産業建設 常任委員会	19 教育厚生 常任委員会	20 原子力安全対策 常任委員会	21
22	23	24	25	26 議会運営委員会 全員協議会	27 本会議 (閉会)	28

※会議は、原則として午前10時開会です。

傍聴方法

- 本会議の受付所 市役所3階傍聴席前
- 各委員会の受付所 市役所2階全員協議会室前
- 受付簿に年代及びお住いの地域を記入してから入室

議会映像視聴方法

- 本会議、臨時会の様子をライブ配信しています。お手持ちのスマートフォンやパソコンで視聴できます。



請願・陳情の提出

- 6月定例会での審議を希望される場合には、5月30日(金)午後5時までに議会事務局へ提出してください。

那珂市議会公式SNS



議会広報編集委員会

委員長 榊原 一和
副委員長 寺門 勲
委員 桑澤 直亨
委員 原田 悠嗣
委員 鈴木 明子
委員 富山 豪

編集後記

変化の激しい時代を迎え、『政治』が社会に与える影響はより一層大きくなっています。それに伴い、『政治』に対して多くのかたの関心・注目度が高まっていると感じています。「無関心ではないけれども、無関係ではないられない」のが『政治』です。皆さんにとって、最も身近な那珂市議会の様子を分かりやすくお伝えできるように、広報編集委員会一同、今後も精進してまいります。

原田 悠嗣